

## 2 整えたい教室環境とは

### (1) 整理整頓 [子供たちが見てわかる工夫を]

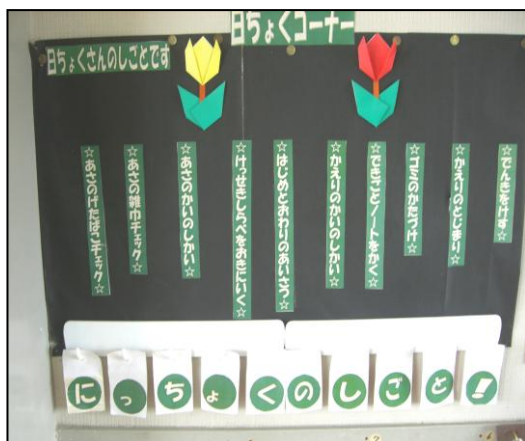
- ・子供たちが、安心して、落ち着いて生活や学習ができるように教室環境を整えます。
- ・どこに何を置くかきちんと決めておきます。



### (2) 掲示物



- ・いつ、誰が、何をするのかを明確にすることで、児童生徒が取り組みやすく、仕事のチェックがしやすくなります。他の当番表も作成します。



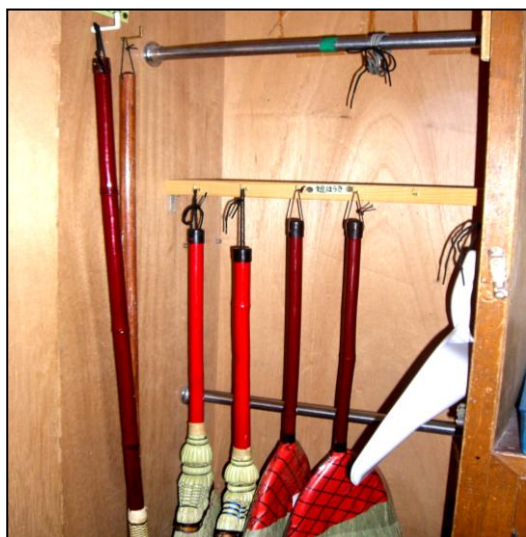
- ・日直の仕事を書いておき、仕事をしたら裏返します。一日の流れがわかるようにしておきます。

### (3) 清掃指導



【図解された道具のしまい方】

- ・ 掃除用具は、乱雑におくとほうきの先が折れ長持ちしなくなり、上手に掃くことができなくなるので、整理整頓に心がけます。写真やラベルを貼り、どこに何を片付けるのかわかるようにします。
- ・ 当番表を作成し、場所・細かい分担がわかるようにしておく、スムーズに掃除ができます。
- ・ 当番表は子供たちの発達段階に応じて、子供が作る、教員が作る、子供と教員で作るなど工夫していきます。



【きれいに整理された用具類①】



【きれいに整理された用具類②】

### 3 おさえたい学級での指導とは

#### (1) 学校行事への取り組みせ方

学校行事は学校生活で学んだことを、総合的に発表する学習です。

※時間がないからと、教員の一方的な考えを押しつけるような活動をしていては、ただ忙しく意味のない活動になってしまいます。

学校行事の特質である集団活動・実践的な活動については学習指導要領解説「特別活動」を読んで理解を深めましょう。

#### (2) 提出物指導

提出するもの、期限、場所を事前に伝えておくことが大切です。

宿題などの提出物も登校後、毎日決められた場所に置くようにしておく、回収によって授業時間を使うこともなくなります。

返却は、なるべく早めにします。その日のうちに返却することが望ましいです。内容を確認せず、サインや判だけで返却するのは、子供や保護者からの信頼を失います。

なお、担任がいない時間に集金することは問題があります。中身を確認して一人一人集めることが大切です。

### (3) 班作り・班活動

学習のねらいにそった班作りが必要です。そのためには、班活動のねらいをはっきりとさせ、活動場面に応じたメンバーを教員が意図をもって決定することが大切です。

### (4) 席替え

子供たちの言いなり（好きなもの同士・ご対面・くじびきなど）で席を替えることは学習指導上だけでなく、生活指導上でも大きな問題となることがあります。

身体的に配慮を必要とする子供、対人関係で配慮を必要とする子供、付けさせたい力などを考えて、教員が決めることが大切です。

### (5) 給食指導

給食指導中における食育の重要性や事故防止の観点からも、指導時間であることをしっかりと認識しましょう。配膳や片付けの方法は、給食主任や栄養士から指導を受け、整然とすすめられるようにしましょう。



### (6) 係活動

係活動は、特別活動の学級活動の活動内容「学級内の組織づくりや仕事の分担処理」にあたる活動です。設置する係の種類や数は、学年や学級によって異なるので、児童生徒が十分に創意工夫して計画し活動できるよう適切に指導することが望まれます。放課後の教室などを訪問し、各学年学級でどのような係を作っているか知るのもいいでしょう。教員のお手伝いの係ばかりでは自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てることになりません。

